

情報提供

平成 29 年 9 月 14 日
島根県芸術文化センター「グラントワ」
島根県立いわみ芸術劇場
館長：若槻 真治
[担当]学芸課：左近充/総務広報課：吉岡

彫刻家・澄川喜一による作品のギャラリートーク開催について

島根県立石見美術館および公益財団法人しまね文化振興財団では、この度、彫刻家・澄川喜一によるギャラリー・トークを実施します。澄川喜一は、島根県の吉賀町に生まれ、当地で育んだ感性を軸に、全国 100 箇所を越す屋外彫刻の制作を始め、木や石、金属などの素材を使った抽象彫刻の第一人者として活躍しています。

今回は、コレクション展「シンプルという概念」展に合わせ、当館のセンター長でもある作家自らが自作について語る貴重な機会となります。会場となる展示室では、日本画家・小堀鞆音の金地の屏風や、洋画家・岸田劉生の油絵などの絵画、そして木を素材とした澄川喜一の彫刻と、時代の新旧や分野の違いを超えて織りなす不思議な調和の空間が広がっており、そのなかで作家の語る話に耳を傾けていただきます。

つきましては、ご多忙とは存じますが、取材及び報道方よろしくお願いいたします。

《日時》

9 月 16 日（土）14:30～15:15

《会場》

島根県芸術文化センター「グラントワ」内 島根県立美術館 展示室C室

《集合場所》

美術館ロビー

その他取材について：取材（撮影）の際は腕章の着用をお願いいたします。

主催 島根県立石見美術館、しまね文化振興財団

協力 株式会社ケー・エス・アート

《澄川喜一氏プロフィール》 彫刻家。東京藝術大学元学長、同大学名誉教授。島根県芸術文化センター長。1931年島根県生まれ。木や石、金属などを素材とした《そりのあるかたち》シリーズで注目を集め、1979年第8回平櫛田中賞、1988年第13回吉田五十八賞など数多くの受賞を重ねる。全国各地の野外彫刻を手がけるほか、東京スカイツリー®のデザイン監修を務めるなど、幅広い活動を続ける。2008年文化功労者に顕彰。